

民児協 あこほう



広げよう 地域に根ざした 思いやり

第48号 平成28年 春号

笑顔満開



坂越小学校 アフタースクールにて

民生委員児童委員信条

- 一、わたくしたちは、隣人愛をもって、社会福祉の増進に努めます。
- 一、わたくしたちは、常に地域社会の実情を把握することに努めます。
- 一、わたくしたちは、誠意をもって、あらゆる生活上の相談に応じ、自立の援助に努めます。
- 一、わたくしたちは、すべての人々と協力し、明朗で健全な地域社会づくりに努めます。
- 一、わたくしたちは、常に公正を旨とし、人格と識見の向上に努めます。

児童憲章

児童は、人として尊ばれる。
児童は、社会の一員として重んぜられる。
児童は、よい環境の中で育てられる。



民生委員児童委員 各地区活動報告

御崎地区「一年間の活動」

御崎地区地域福祉推進連絡会は民生児童委員9名と民生児童協力委員（福祉推進委員）18名で構成しており、地域住民の生活状態を適切に把握することに努めながら一年を通して様々な活動をしています。毎月1回の有料給食サービス・年3回の友愛訪問の実施、まちづくり推進連絡協議会の各種団体と協力してひとり暮らし老人花見の会・ふれあい敬老会・三世代交流もちつき大会の開催などです。昨年11月の友愛訪問は初めての試みとして、自治会と協力して御崎小学校の児童と一緒に高齢者の方や寝たきり老人のお宅を友愛訪問しました。



赤穂地区「減災グッズを備えよう」

今年は阪神淡路大震災から20年の節目です。地震に関する話題がたくさんあります。赤穂は南海地震が発生した場合、震災に見舞われる危険性が有ります。兵庫県地域防災センターで震度7を体験し、その時はパニック状態になりました。ことわざにも昔から「備えあれば憂いなし」と言われています。普段から減災グッズを備えましょう。①いつもケータイ<携帯>、①非常持ち出し、②安心ストックです。



坂越地区「友愛訪問 いつまでもお元気で!!」

坂越地区では、今年も2月3日節分の日に、高齢者の方々に「太巻き寿司」と『福袋』そして「お便り」を添えて、お届けしております。「巻き寿司の丸かぶり」は、福を巻き込む。まるごと食べるのは「縁を切らないために包丁を入れない」という意味が込められ、今年は【南南東】に向かって「幸せな一年になりますように」と願いを込め丸かぶりをする行事です。お一人おひとりの健康長寿をお祈りしながら、一軒一軒心を込めて、自治会長・福祉推進委員・民生委員が手分けしてお届けしました。



城西地区「友愛訪問で高齢者見守り活動」

城西地区地域福祉推進連絡会では27年度の取り組みとして年4回の友愛訪問活動を実施しました。梅雨場・夏場・冬場など体調の変化が出やすい時季にスポットを当てて、日常的な会話のなかで安否確認や心配事相談など行いました。訪問した皆さんの笑顔と元気な笑い声が、我々にとってやりがいがあると感じつつ、つつい話こんで居ることも多いです。

高雄地区「活動報告」

高雄地区では年間行事として、給食サービス9回、友愛訪問3回、地区定例会12回、地区研修会3回、年賀状、暑中見舞いの送付等があります。その他花見の会、敬老会、もちつき大会等も我々が中心になって執り行っています。民生委員6人、推進員12名、計18名が、委員長を中心がっちりまとまり活動しています。民生児童委員信条の5項目、児童憲章を常に心にこれからも頑張っていきたいと思っています。



塩屋地区「生活習慣病について」

1月23日（土）に、塩屋地区地域福祉推進連絡会と給食ボランティアと合同で研修会を実施しました。薬膳調理師及び野菜ソムリエとして活動されている渡部美智余様を講師として「生活習慣病、認知症と食べ物との関係」についてのお話をいただきました。話の中で「高齢者向けの食事」等のレシピを配布していただき、皆様日々の調理の参考にしたなどの話題で、内容の濃い研修となりました。



有年地区「友愛訪問」

有年地区では2月17日に友愛訪問を実施しました。民生委員と福祉推進委員が心を込めたお弁当を作り、絵手紙を添えてお届けしました。絵手紙は公民館の絵手紙サークル（芙蓉の会）の方々に一言メッセージを入れ一枚一枚作成していただいた作品です。一人暮らし、高齢夫婦の皆さんが楽しみに待っていてくださり、「ありがとうございます」という言葉で、私たちも温かい気持ちになりました。



西部地区「給食サービス」

西部地区では、年間9回第2土曜日に給食サービス事業を実施しています。民生児童委員7名と地域福祉推進委員14名が西公民館に集まり、前日準備した材料でどこに出しても恥ずかしくない弁当を作り、配達しています。西部地区では、店の無い地区が在り、赤穂市で一番高齢化率が高く買い物難民で困っているのが現状です。今では、生協が土曜日に生活必需品を販売しにきていますが、非常に厳しい状況には変わりありません。弁当を配達した時の皆さんの笑顔と、『ありがとう』の一言が私達作っている者の励みになっています。

厚生労働大臣賞をいただいて

涌元 雅代

民生・児童委員のことをよく知らないでお受けした私が三十年経ってこれたのは、私の周りにはたくさんのお人がいてくださったり、家族の理解と協力があつたからこそかと思ひます。何かで困った時でも、いつも誰かがいて助けてくれました。お人に恵まれた幸せな人生でした。今回のように大臣賞をいただけたのも、皆さんのおかげと感謝しています。私は「一隅を照らす人になりなさい」ということばが大好きです。これからも、その心で照らしていきたいと思っています。よろしく願いいたします。



尾崎地区「有料給食研修会」

尾崎地区、地域福祉推進連絡会は、2月9日有料給食研修会を行いました。毎月お届けするお弁当を安心して美味しく食べていただくと共に、福祉活動を通じて地域社会に役立つ福祉推進連絡会として少しでも皆様に喜んで頂けるように力を合せて、明るく楽しく今年も頑張ります。





春がやってきた

ポカポカ春がやってきました。春には、別れもありますが、新しい出会いもたくさんあります。そんな中、子ども達の、「行ってきます」「ただいま」の音が弾んでいると安心したり、声に少し元気がないと心配したり、親子でワクワク、ドキドキの毎日ですね。

こんな時期には特に、こちらの聞きたい事は少しおいといて、子どもの話を最後まで、笑顔で聞きたいものです。その中には、言葉の順序はハチャメチャでも、嬉しかった事、不安だった事、新しく発見したことなど、その日のその子の精一杯が詰まっていると思います。時には、ハラハラする内容もあるとは思いますが、そこは、俳優になったつもりで、笑顔で聞いていると、子どもの顔もほぐれてきます。聞き終わった後は、

「…は、つらかったね」

「…は、嬉しかったね」

などの言葉で共感して、だっこやハイタッチ!!

もう明日に向かって元気満タンです。聞きたい事はその後、ゆっくりと質問してみてもいいでしょう。

さて、今日はどんな話が聞けるのか、楽しみですね。



東日本でおきた未曾有の大津波から早くも5年がすぎ、私たちの記憶から阪神・淡路での惨禍が薄らいでいく今日、広報部会は災害に対する認識を深めるため神戸市にある阪神・淡路大地震記念「人と防災未来センター」にて研修を行いました。

館内では、阪神・淡路大震災の経験と教訓をもとに防災・減災社会の実現のために必要な知識を学ぶことができ、展示資料や当時の映像、地震体験者の話などをもとに、一人ひとりが災害に対する正しい知識を身につけることができました。

私たち民生委員・児童委員は福祉の担い手として思い込みにとらわれず、より良い人間関係を築き、ここで学んだ教訓を活かし、災害時には一人も見逃さないよう「非常時に持ちだす物・どこに逃げるか」避難場所の確認にこころがけ、誰もが安全で安心して暮らせる福祉活動をしてまいります。

防災・減災社会をめざして

編集後記

民生委員制度は、平成29年に制度創設100周年を迎えます。今号から「民児協あこう」の題字横に100周年のシンボルマークを入れました。私たち民生委員・児童委員は地域福祉の一層の充実、発展に向けた活動をしていきたいと思っています。

広報部会

編集委員

部長 松田 利一
 久須 律子
 服部 洋子
 大田 登
 亀井 紀代子
 米田 中田
 出口 卓
 前本 美奈子
 仲 宣子
 逸 俊
 米 利一
 野 征也
 田 丑野
 上 洋二
 河 俊之
 森 逸之
 中 俊之
 田 俊之
 浦 俊之
 地 俊之
 仲 宣子
 宣 俊
 子 俊

